

「Lhaplus」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA、理事長:西垣浩司)は、「Lhaplus」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)に関する注意喚起を、2008年4月28日に公表しました。

(URL: http://www.ipa.go.jp/security/vuln/documents/2008/200804_Lhaplus.html)

これは、細工されたファイルに対して展開処理を行った場合に、任意のコードが実行されるというものです。

悪用されると、コンピュータ上でユーザの意図しないプログラムの実行や、ファイルの削除、ウイルスやボットなどの悪意あるツールがインストールされるなど、コンピュータが悪意あるユーザによって制御される可能性があります。

対策方法は「ベンダが提供する対策済みバージョンに更新する」ことです。

1. 概要

Lhaplus は、電子ファイルのデータサイズを小さくすることなどを目的に、データを圧縮して保存したり、またその圧縮したデータを元のデータに戻したりする機能を持つソフトウェアの一つです。Lhaplus が対応する圧縮形式には、lzh 形式や zip 形式などがあります。Lhaplus には、ファイルの展開処理に問題があり、バッファオーバーフローというセキュリティ上の弱点(脆弱性)が存在します。この弱点が悪用されると、Lhaplus がインストールされたコンピュータ上で、任意のコードが実行されてしまう可能性があります。

この弱点は、2007年9月21日に注意喚起を行った「**「Lhaplus」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起**」および2007年11月22日に注意喚起を行った「**「Lhaplus」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起**」とは異なるものです。

最新情報は、次の URL を参照下さい。

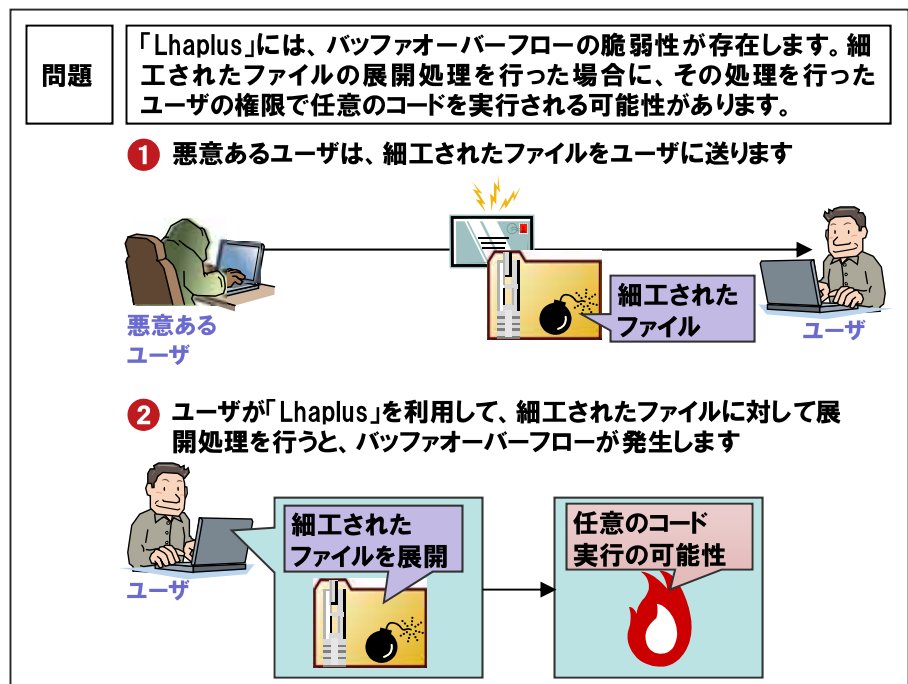
<http://jvndb.jvn.jp/contents/ja/2008/JVNDB-2008-000022.html>

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、2008年2月13日に次の報告者から IPA が届出を受け、有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター(JPCERT/CC)が製品開発者と調整を行ない、2008年4月28日に公表したものです。

報告者: (株)フォティーンフォティ技術研究所 鷓飼 裕司 氏

2. 脆弱性による影響

細工されたファイルを何らかの方法(メールの添付ファイル、ウェブ上からダウンロードしたファイル、ファイル交換ソフトなどで入手したファイルなど)で取得したユーザが、そのファイルを開いた場合に、コンピュータ上でユーザの意図しないプログラムの実行や、ファイルの削除、ウイルスやボットなどの悪意あるツールのインストールが行われてしまう可能性があります。



3. 対策方法

対策方法は「ベンダが提供する対策済みバージョンに更新する」ことです。

4. 本脆弱性の深刻度¹

(1) 評価結果

本脆弱性の深刻度 (CVSS ² 基本値の範囲)	レベルⅠ(注意) (0.0 ~ 3.9)	レベルⅡ(警告) (4.0 ~ 6.9)	レベルⅢ(危険) (7.0 ~ 10.0)
本脆弱性の CVSS 基本値		6.8	

(2) CVSS 基本値の評価内容

AV: 攻撃元区分	ローカル	隣接	ネットワーク
AC: 攻撃条件の複雑さ	高	中	低
Au: 攻撃前の認証要否	複数	単一	不要
C: 機密性への影響	なし	部分的	全面的
I: 完全性への影響	なし	部分的	全面的
A: 可用性への影響	なし	部分的	全面的

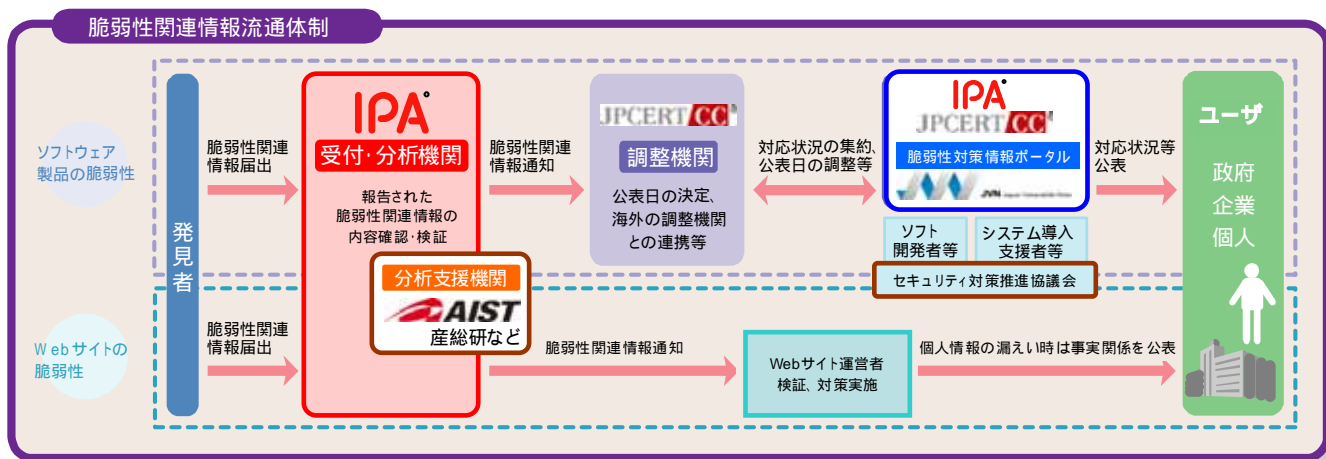
: 選択した評価結果

AV: Access Vector, AC: Access Complexity, Au: Authentication, C: Confidentiality Impact, I: Integrity Impact, A: Availability Impact

5. 参考情報

(1) 「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」について

ソフトウェア製品及びウェブサイトの脆弱性対策を促進し、コンピュータウイルスやコンピュータ不正アクセス等によって、不特定多数のコンピュータ(パソコン)に対して引き起こされる被害を予防するため、経済産業省の告示に基づき、官民の連携体制「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」を整備し運用しています。



JPCERT/CC: 有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター、産総研: 独立行政法人 産業技術総合研究所

¹ 脆弱性の深刻度評価の新バージョン CVSS v2 への移行について。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityLevel2.html>

² Common Vulnerability Scoring System. 共通脆弱性評価システム。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityCVSS2.html>

本件に関するお問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター 山岸 / 渡辺
 Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-ing@ipa.go.jp
 報道関係からのお問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部広報グループ 横山
 Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-ing@ipa.go.jp